

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

地域と企業の協働による「ものづくり」「観光」「介護」産業における雇用拡大と、それを支えるマンパワー養成による雇用創出

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

二戸市

### 3 地域再生計画の区域

二戸市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### (1) 地域の概要

二戸市は、平成 18 年 1 月 1 日に、旧二戸市と旧浄法寺町の合併により誕生し、総面積は 420.31 平方キロメートル、人口は 31,477 人(平成 17 年国勢調査)で岩手県内陸最北端に位置している。地勢は、東北地方を南北に走る奥羽山脈と北上山地に挟まれており、市の約 90%を山地と丘陵地が占めている。県立自然公園に指定されている「折爪岳」や国の名勝指定を受けた「男神岩・女神岩」など、豊かな自然に恵まれた地域である。

#### (2) 地域の現状

二戸市は、地域経済の低迷などにより、企業の業績は伸び悩んでおり、雇用情勢も厳しく、二戸公共職業安定所管内の有効求人倍率は、平成 20 年 3 月現在 0.41 倍となっており、全国の 0.99 倍、岩手県の 0.64 倍を大きく下回っている。

また、常用有効求人倍率でも平成 17 年から平成 19 年までの 3 年間の平均値は 0.32 倍で岩手県内最下位となっており、雇用情勢に回復の気配が見えない状況にある。

さらに、当地域は企業集積が遅れていることから、若年層をはじめとした労働力の流出が著しく、このことが人口減少の主な要因となっている。

#### (3) 地域の課題

二戸市の最重要課題となっている産業の活性化と雇用の創出にあたっては、重点分野である「ものづくり」「観光」「介護」産業における人材育成が不可欠である。

具体的には、誘致企業を中心とした各種機械器具製造業（情報通信・輸送用・精密）や繊維製品製造業などのものづくり産業は、地域の重要な就労先となっているが、従業員の年齢構成は年々高まる一方、若年者の離職率が高く、技術継承がうまく行われていない。そのため、技術継承者の人材育成が必要とされている。

観光産業においては、新幹線や高速自動車道などの高速交通網の整備による利点を活かし、貴重な地域資源を地域と連携しながら活用し、磨き上げる人材の育成が必要とされている。

また、高齢化が進む中、地域の重点産業となっている介護産業では、平成20年度に民間の介護保険施設が2ヵ所開設されるなど、専門知識と技術を持ち合わせた人材の育成が必要とされている。

#### （4）計画の目標

二戸市は、岩手県北の拠点都市として、「活力と安心、歴史文化の薫る拠点都市」を目標に掲げ、産業振興と医療福祉など各分野の機能充実を図りながらまちづくりを進めているところである。

特に、地域の重点分野である「ものづくり」「観光」「介護」産業において、地域が一体となって、本市が有する地域資源や人材を最大限活かしながら、地域産業の活性化とマンパワー養成による雇用創出を推進することにより、地域の再生を目指すものである。

（計画の目標値）

- ・ 新規雇用数 140人
- ・ 雇用拡大支援利用企業数 73社
- ・ 観光客の誘客数（交流人口）720,000人（平成17年実績700,865人）

### 5 目標を達成するために行う事業

#### 5-1 全体の概要

今回の計画は、地域が一体となって、本市が有する地域資源や人材を最大限活かしながら、地域産業の活性化と雇用創出を図ることにより、地域の再生を目指すものである。

具体的には、地域重点分野において地域雇用創造推進事業を活用し、受け皿となる企業や団体の組織力を高める「雇用拡大」と、地域の厳しい雇用情勢を解消するため、専門技術、意識改革による「人材育成」を融合しながら、さらに「就職促進」により企業等と求職者を結びつけ、雇用を創出する。

## ○ものづくり産業 ～未来への技術継承をめざして～

平成 17 年の国勢調査によると、市内の全就業者数は 16,169 人で、うち製造業は 2,528 人で全体の 15.6%を占めている。最も割合が大きい農業の 20.1%に続くものであり、公共事業をはじめとした建設投資の減少による建設業の衰退のなかで、製造業は地域の重要な産業である。

そのなかでも、誘致企業を中心とした各種機械器具製造業（情報通信・輸送用・精密）、繊維製品製造業などは、一部増設・増員などの明るい兆しがある。

しかしながら、従業員の平均年齢は年々高まる中において、技術継承の観点から、積極的に若年者の採用を行っているが、早期離職率が高い傾向にある。

その原因として、

- ① 企業内において継承すべき技術・ノウハウといったものが明確化されていない。
- ② 明確化されていても、その効果的な継承が行われていない。
- ③ 若年者の企業に対する前もった予備知識がほとんどない。

の 3 点が上げられ、そのため仕事についていけず、ミスマッチを起し早期離職率が高い現状にある。

このため、企業側と求職者側の両者の人材育成への取り組みの充実を図る必要がある。

上記①②③の 3 つの原因を解決するために、技術継承者に係る人材の育成を図り、早期離職率の低下を目指す。

二戸公共職業安定所を通じた求職者へのアンケートでも技術習得による就業意欲が高かったことから、求職者への各種機械器具製造業（情報通信・輸送用・精密）、繊維製品製造業などにおける技術の継承を図るため、技術習得を目的とした人材育成を行い、ものづくり産業の活性化を図ることにより、多くの雇用の場を創造する。

## ○観光産業 ～体感できる滞在型観光をめざして～

東北新幹線二戸駅や東北自動車道・浄法寺 I C など高速交通網が整備されたことで、観光客入込数は、平成 12 年の年間 360,255 人から平成 17 年の年間 700,865 人に増加している。（岩手県観光統計概要）

しかしながら、国の名勝指定を受けた「男神岩・女神岩」や瀬戸内寂聴師の青空法話で全国的に知名度のある「天台寺」、さらに本州最大のヒメボタル群生地「折爪岳」など有望な観光資源はあるものの、観光に携わる人材の育成が不十分なため、観光資源を有機的にまとめて、対外的に打

ち出すことができていない状況である。

このことから、今後の観光産業の方向としては、地域の資源を活用した内発的な滞在型観光地への転換を目指し、観光産業の再構築を図ることが地域の雇用を創出するためにも不可欠である。

都会に住む方が休日のたびに農業や地域文化を体験するメニューや、退職した団塊の世代の方が地域の風土に根ざした生活文化を体感するメニューなどを、その地域に住む人たちで創りあげ、それを個人客が分かりやすく体験できる企画を作り上げ、その結果として長期の滞在客やリピーターの増加へと繋げ観光産業の振興を図る。

### ○介護(高齢者介護サービス)産業 ～高齢者へのホスピタリティの充実をめざして～

平成 17 年の国勢調査によると、当市の高齢化率は 26.9%と、岩手県の 24.5%に比べ、2.4 ポイント高く、高齢化社会から超高齢社会に突入しようとしている。

市内の介護保険施設関係の求人も多く、地域密着型の産業として重要な位置づけにある。

平成 20 年度には民間の介護保険施設が 2 ヶ所開設されるなど、市内の介護産業は増大傾向にあり、地域の大きな雇用の場となっている。

しかしながら、事業者側が求める専門技術はレベルが高く、求職者等が技術を習得しようとしても地理的、時間的、金銭的に負担が大きいのが現状である。

そこで新パッケージ事業を活用し、介護福祉士レベルの専門的技術の習得を目指した人材育成を行うことにより、雇用の創出と高齢者福祉環境の充実を図る。

#### 5-2 法第 5 章の特別の措置を適用して行う事業 該当なし

#### 5-3 その他の事業

##### 5-3-1 基本方針に基づく支援措置による取組

##### 【B0902】地域雇用創造推進事業

- ・ 事業の実施主体  
二戸市雇用創造促進協議会  
「構成員」①二戸市  
②二戸市商工会

- ③新岩手農業協同組合
- ④二戸市ふるさと振興株式会社
- ⑤二戸職業訓練協会
- ⑥二戸市特産品開発推進協議会
- ⑦二戸市誘致企業等連絡協議会
- ⑧二戸市観光協会
- ⑨きばって足沢70の会
- ⑩二戸地区介護保険事業者協議会

## (1) 雇用拡大メニューの取組

### ① ものづくり産業分野

ものづくり企業のニーズとしては、若手・中堅職員の資質向上が課題となっていることから、将来の企業を支えていくリーダーを育成し、職場の改善を重ねながら生産性を向上させ、雇用の拡大を図る。

また、地元企業では、リクルートに関するノウハウが不足しているため、企業と求職者のミスマッチ事例が多く見られる。

このことから、雇用拡大のためには採用にあたってのノウハウの取得が不可欠であり、企業はもちろんのこと、教師や保護者等も対象に幅広い参加型のセミナーを開催し、求人活動を効率的に進めることにより、就業機会の拡大を図る。

### ② 観光産業分野

地域で受け継がれてきた宝（＝地域文化：風土・風景・食等）を活用し、旅行者が地域の魅力を体感できるよう滞在型（スローライフ）の観光地づくりを、市民協働により進める。

特に、地域資源を有効に活用し、体感型旅行商品等を企画するプロデューサー的な人材の育成を行う。

また、地域の宝をビジネスとして活用することで、新たな雇用創出効果を生み出すため、観光資源の掘り起こし講義や実習を行う。

## (2) 人材育成メニューの取組

### ① ものづくり産業分野

幅広く地域求職者をものづくり産業へ導くため、就労意識の醸成のための意識改革セミナーを行う。

また、市内の縫製業や電気機械器具製造業等においては、若年者

を中心に職場定着率の低迷が大きな課題となっており、その解決策の一つとして、市内企業の技術者等を講師に、地域ものづくり技術者継承セミナーを実施する。具体的には、企業の視察や職場体験等を含めた基礎技術習得を通じて人材の育成を行う。

## ② 介護産業分野

介護保険施設等が求める専門的知識を有する人材を育成するため、求職者と在職者の介護職員専門技術講習を行う。

## (3) 就職促進メニューの取組

### ① ホームページの開設

旧パッケージ事業では、市民への事業周知方法として、それぞれの事業の都度、広告宣伝を行ってきた。本事業においては、協議会のホームページ作成運営により、広く事業内容のPRを行うとともに、受講者の募集を行う。

### ② 就職面接会の開催

各種関係機関と協力して、本事業を利用した事業者、求職者を対象として就職面接会を実施することにより、求人・求職のマッチングを通じた就業機会の拡大と充実を行い、就職促進を図る。

## 5-3-2 独自の取組

### (1) 中小企業資金融資制度

中小企業の振興育成を図るため、二戸市で指定する金融機関に融資枠を設定し、市内の中小企業者が事業資金（運転・設備）の融資を受けた場合、利子補給補助金を交付し、企業の安定経営及び起業化による雇用拡大に繋げる。

### (2) 岩手県小規模小口資金利子補給補助金

責任共有制度に伴い創設された岩手県小規模小口資金について、市内の零細企業の支援のための利子補給を行い、円滑な資金融資を図ることにより、企業の安定経営及び起業家による雇用拡大に繋げる。

### (3) 企業立地補助金

製造業・ソフトウェア業・自然科学研究所に該当する企業が、二戸市内に工場等を新設・増設した際の用地取得費・建物建設費・機械設

備等の取得費に対し、市が支援し、雇用創出を図る。

(4) 起業・立地奨励補助金

二戸地区拠点工業団地内に工場等を新設・増設する場合に土地又は建物の賃貸借料の一部を支援し、雇用創出を図る。

(5) ジョブカフェいわてカシオペア運営事業

求職者に対し各種職業相談、職業適性診断、研修等を実施し、マッチング機能を高めるとともに、就職後には、職場定着率を図るためのフォローアップを行い、地域課題である若年者の早期離職の低減を図る。

(6) 観光関係

平成14年12月の新幹線二戸駅開業を機に「新幹線二戸駅利用促進協議会」を組織し、広域(トリコロール)エリア内19市町村の交流促進に取り組んでいる。

また、地域経済の活性化を図るため、下記のような交流情報発信イベントや地域の観光資源を活用した事業を実施している。

- ・トリコロールフェスタ開催事業
- ・九戸城歴史物語紙人形展
- ・ヒメボタル鑑賞会
- ・金田一温泉まつり、りんご収穫祭
- ・二戸まつり、浄法寺まつり
- ・天台寺春・秋の例大祭
- ・稲庭高原まつり、稲庭スノーフェスティバル
- ・なにゃーと夜市

(7) 介護施設整備支援

急激な高齢化に伴い、介護サービスの充実を図るため、民間が行う施設整備に係る整備費に対し補助し、雇用拡大を図る。

6 計画期間

認定の日から平成23年3月末まで

7 目標達成状況に係る評価に関する事項

二戸市雇用創造促進協議会において、事業利用者等に対して毎年度アンケート

ート調査等を実施し、雇用状況等についての検証を行い、取組に対する評価を行う。

- 8 地域再生計画の実施に関し、当該地方公共団体が必要と認める事項  
該当なし